

2007年度の活動を振り返って

白山トンネルについて

東京の国交省本省は訪問しなかったので、大臣宛に反対の要望書を送付しておきました。国交省金沢河川国道事務所及び県には直接出向き、国交省では副所長に県では土木部長に建設反対の要望書を手渡し話し合いを行いました。国交省のほうでは建設主体は県にあり、県が決定すれば支援を行うこと、ただし優先順位はそれほど高くはないことが改めて確認されました。また、他にもっと必要な道路があるというお話をいただき、私たちとしては意を強くしました。県のほうは建設に強い意欲を持っており、2、3年後にはルートを絞り込みたいということでした。この間に何が出来るのかを真剣に考えていきたいと思えます。

チブリ尾根登山道維持管理作業について

今年度で5年目となります。5月から10月にかけて、全9回の作業を行いました。笹の刈り方など、事前に参加者で打ち合わせをしておく必要性を強く感じました。また、参加者ののべ人数は60名を超えており昨年度よりも若干増えました。ただ、もう少し増やしていく努力が必要です。小屋のトイレ掃除をその都度行い、好評でした。

獅子吼高原の風力発電機について

鶴来の獅子吼高原に風車の建設問題が持ち上がりました。会としては環境保護の観点から、白山市に対し建設を認めないでほしいという要望書を提出しました。その後、事業者側は地元の同意を得られなかったとして、建設の断念を表明しました。獅子吼の自然は守られたことになり、素直に喜ぶたいと思えます。

各行事について

クリーン活動や自然観察会など例年通りの行事を行い、どの行事もほぼ10名以上の参加者を得ました。各行事を通して新入会員も増えていますが、もう少し増やしていく必要があります。

会報及びホームページについて

今年度も年4回の会報を予定通り発行しました。1面と最終面のカラー化は好評です。また、1面には昨年度に続き季節ごとの絵手紙を掲載しました。企画ものなどもあり、読み応えのあるものになったのではないかと思います。写真も多くなりました。なお、ホームページでは全編カラーで読むことができます。ホームページも時々話題を随時掲載し、随分と充実してきました。

会員数の動向及び会活動の今後について

会員数は、微減傾向にあります。また会設立20年近くになり、会員の高齢化が進んでいることもその遠因になっています。このままでは会活動の停滞が懸念されます。新たな会員の獲得が急務となっています。

設立20周年に向けて

今年度は、殆ど話し合いをもてませんでした。次年度は、講演会などの企画を検討していきたいと思っています。

その他

- (ア) 光ファイバーの室堂までの延伸問題が持ち上がりました。白山の自然保護を第一に、会としては反対の意向を示しましたが、今後とも国交省とは粘り強く話し合いを続けていきたいと思えます。
- (イ) 白山登山道の植生調査を今年度も行い、県への提言事項をまとめました。次年度早急に県に提出し、実現させたいと思えます。

2007年3月9日

NPO法人 白山の自然を考える会

2007(H.19)年度 活動報告

- 3月12日(日) 第18回総会(28名)
石川県生涯学習センターにて
- 14日(水) 事務局会議(4名)
- 28日(水) 白山トンネルルート帯情報公開説明会(4名)
- 4月13日(金) 運営会議(9名)
- 15日(日) 雑木林春の詩PART18(18名)
- 5月11日(金) 運営会議(13名) **会報発行**
- 27日(日) チブリ尾根巡検(6名)
- 6月 1日(金) 運営会議(10名)
- 3日(日) 取立山クリーン活動(13名)
- 12日(火) 事務局会議(5名)
- 24日(日) 赤兎山自然観察会(17名)
- 25日(月) 参院選候補者アンケート案検討(5名)
- 7月 1日(日) 白山トンネル反対チラシ配布別当出合にて(2名)
- 6日(金) 運営会議(9名)
- 10日(火) 参院選白山トンネルアンケート結果公表
- 13日(金) 白山トンネル県情報公開説明会(2名)
- 21日(土)~22日(日) チブリ尾根登山道草刈り(15名)
- 8月 3日(金) 運営会議(7名) **会報発行**
- 18日(土)~19日(日) 白山登山(5名) 登山道の調査
- 23日(木) 国交省金沢事務所にて白山トンネル問題で話し合い(3名)
- 9月 5日(水) 国交省金沢事務所にてチブリ尾根付け替え道路検討会(2名)
- 7日(金) 運営会議(12名)
- 15日(土) チブリ尾根草刈り(4名)
- 18日(火) 事務局会議(3名)
- 28日(日) 獅子吼高原の風力発電の件で白山市に反対の要望書提出(3名)
光ファイバー延伸問題、事前相談会(11名、事務所にて)
- 10月 1日(金) 光ファイバー延伸問題で国交省と話し合い(7名)
- 5日(金) 運営会議(7名)
- 21日(日) チブリ尾根巡検(5名)
- 28日(日) 石徹白下見(2名)
- 11月 4日(日) 白山登山道調査(2名)
医王山自然観察会(7名)
- 5日(月) 環境省白山自然保護官との懇談(2名)
- 9日(金) 運営会議(13名)
- 15日(木) 白山自然保護官との懇談(3名)
- 29日(木) 国交省と光ファイバーについての話し合い(8名)
- 12月 7日(金) 砂防ダム学習会(9名)
運営会議(9名)
- 17日(月) 国交省と白山トンネルについての協議及び要望書提出(3名)
- 18日(火) 県と白山トンネルについての協議及び要望書提出(3名)
- 22日(土) 忘年会(4名)
- 1月 7日(月) 白山市に風力発電建設反対の要望書提出(3名)
- 11日(金) 運営会議(9名)
- 25日(金) チブリ尾根反省会(2名)
- 2月 1日(金) 会計監査(5名)
- 3日(日) かんじきハイク(9名)
- 5日(火) 森林環境税及び中山間地の件での件で県と協議(3名)
- 8日(金) 運営会議(14名) **会報発行**
理事会
- 3月 2日(日) 労山総会に出席(1名)
- 7日(金) 運営会議(8名)

平成19年度 特定非営利活動事業 会計収支計算書
 ~平成19年1月1日から平成19年12月31日まで~

特定非営利活動法人
 白山の自然を考える会

科目	金額		
収入の部			
1 会費収入			
個人	355,500		
団体	45,000	400,500	
2 寄付			
会員寄付	123,001		
団体寄付	200,000	323,001	
3 行事参加費	20,700	20,700	
4 利子	186	186	
5 委託費	320,000	320,000	
当期収入合計(A)			1,064,387
前期繰越収支差額			363,417
収入合計(B)			1,427,804
支出の部			
1 事業費			
会報の発行・発送	332,700		
行事保険料	9,605	342,305	
2 事務費			
総会費	18,396		
事務運営費	35,463	53,859	
3 旅費	3,744	3,744	
4 調査費	91,700	91,700	
5 関連団体会費	18,625	18,625	
6 家賃	108,735	108,735	
7 予備費	70,000	70,000	
8 委託費	320,000	320,000	
当期支出合計(C)			1,008,968
当期収支差額(A-C)			55,419
次期繰越収支差額(B-C)			418,836

収支合計 1,427,804円、支出合計 1,427,804円
 会計報告書について監査しましたが、上記の通り相違ありません。

平成 20年 2月 1日

会計監査

なお、特別会計として、1,896,113円があります。

平成19年度 特定非営利活動事業 特別会計収支計算書
 ~平成19年1月1日から平成19年12月31日まで~

特定非営利活動法人
 白山の自然を考える会

科目	金額		
収入の部			
1 寄付			
個人	56,160		
団体	0	56,160	
2 利子	777	777	
当期収入合計(A)		56,937	
前期繰越収支差額		1,839,176	
収入合計(B)			1,896,113
支出の部			
	0	0	
当期支出合計(C)			0
当期収支差額(A - C)			56,937
次期繰越収支差額(B - C)			1,896,113

特別会計は トラスト事業 その他の特別事業 に備えることを目的とするが、その支出については、理事会での承認を得るものとする。

2008年度の活動に向けて

白山トンネルについて

建設に向けての活発な動きはないように思われますが、安心はできません。粘り強く反対を訴えていきたいと思えます。国交省には毎年要望書を提出していますが、県との交渉にも力を入れていきたいと思えます。

白峰からのマイカー規制について

登山シーズンのマイカー規制を、白峰からに延長することを提言したいと思えます。各方面の方々の意見を聞きながら、具体的方策を練っていききたいと思えます。

チブリ尾根登山道維持管理作業について

今年度も継続する予定です。ただ、責任者をはじめ、一部の方々にかかる負担は相当なものがあります。参加者を増やしていく必要があります。

会員数の動向及び会活動の今後について

会員数は、微減傾向にあります。新たな会員の獲得、特に今後を担う若い世代の会員増が急務となっています。会の活動に気軽に参加できるようにするとともに、隠れた人材の発掘等も考えていきたいと思えます。

各行事について

恒例行事は継続して行います。行事は、会と会員皆様とをつなぐ重要な場です。初めての方が参加しやすくする雰囲気をつくっていききたいと思えます。また、行事は新入会員増加の一番の機会でもあります。

会報及びホームページについて

内容は広く深く、読み応えがあると思えます。ただ、執筆者が固定されている観があります。多くの会員の生の声が聞こえるようにするにはどうすればよいか、皆様のお知恵をお願いします。ホームページならではの、リアルタイムの情報掲載も今後の課題かと思えます。

設立20周年に向けて

いよいよ来年に迫りました。現時点では全くの白紙状態です。日程等、具体的に取り組む必要があります。

その他

ア) 光ファイバーの室堂までの延伸問題が持ち上がりました。白山の自然保護を第一に、国交省との話し合いを続けていきたいと思えます。

イ) 白山登山道の植生調査を行い、提言事項をまとめました。今年度早急に県に提出し、実現させたいと思えます。

ウ) 中山間地や森林環境税の問題について引き続き取り組んでいきます。

2008年度 活動予定(案)

予 定 日	内 容	担当部会等
3月 9日(日)	第19回総会	
4月13日(日)	雑木林 春の詩PART19	高 橋
6月15日(日)	クリーン活動(岩屋俣園地)	事務局
6月29日(日)	自然観察会(加賀禅定道檜新宮)	生物部会
7月19・20日(土、日)	チブリ尾根草刈り	米 山
8月16・17日(土、日)	白山登山(会員から募集する)	事務局
9月21日(日)	チブリ尾根草刈り	米 山
28日(日)	子ども・秋のクリーン活動(奥獅子吼山)	事務局
10月 5日(日)	子ども・秋のクリーン活動 予備日	
19日(日)	看板設置(釈迦岳)	ぶなっ子くらぶ
11月 日(日)	白山麓見て歩き(石徹白付近)	文化・地域部
16日(日)	自然観察会(高尾山・吉次山縦走)	生物部会
12月 中 旬	砂防ダム勉強会	砂防担当
2月 中 旬	かんじきハイク	生物部会

毎月第1金曜日(原則として)に、運営会議を開きます。

会報「しらやま」を年4回発行します。(2月・5月・8月・11月)

今年のチブリ尾根登山道巡視は、以下の日程になっております。ご参加ください。

5月25日(日)、6月22日(日)、8月24日(日)、10月18日(土)

上記の他に、林道調査も予定しています。

2008年度 各部会担当者(案)

山岳部会	北市 正	<事務局>	
水系部会		事務局長	深田 和人
生物部会	加藤 正現	会報編集長	深田 和人
文化・地域振興部会	垣本 哲夫	会報担当	高橋 外男
ぶなっ子くらぶ	米山 豊	ホームページ担当	木村 芳文
白山トンネル部会	栗山 宏人	会員動向・連絡担当	山田 博子
林道部会	松江 勇昭	会 計	菊 正美
自然解説指導	林 二良		山田 博子
チブリ尾根登山道維持管理作業担当	米山 豊	庶 務	加藤 正現
20周年担当	渡辺 満		

平成20年度 特定非営利活動事業 活動収支予算書(案)
 ~平成20年1月1日から平成20年12月31日まで~

特定非営利活動法人
 白山の自然を考える会

科目	金額		
収入の部			
1 会費収入			
個人	340,000		
団体	42,000	382,000	
2 寄付			
会員寄付	100,000		
団体寄付	200,000	300,000	
3 行事参加費	30,000	30,000	
4 利子	100	100	
5 委託費	320,000	320,000	
当期収入合計(A)		1,032,100	
前期繰越収支差額		418,836	
収入合計(B)			1,450,936
支出の部			
1 事業費			
会報の発行・発送	340,000		
行事保険料	17,000	357,000	
2 事務費			
総会費	25,000		
事務運営費	50,000	75,000	
3 旅費	65,000	65,000	
4 調査費	20,000	20,000	
5 関連団体会費	19,000	19,000	
6 家賃	121,000	121,000	
7 予備費	50,000	50,000	
8 委託費	320,000	320,000	
当期支出合計(C)		1,027,000	1,027,000
当期収支差額(A-C)			5,100
次期繰越収支差額(B-C)			423,936